



国会で 農の現場で 精力的に



JA全国青年大会後に行われた全青協パレード参加者とがっちり握手(2008年2月14日)



明治時代の農村指導者・石川理紀之助翁の講演録を福田総理に贈り喜ばれる(2008年2月4日)



JA全国女性大会で挨拶(2008年1月25日)



六本木ヒルズで開幕したJAグループ産産物商談会で味見をする(2008年2月20日)



牛乳バックを手に、飼料価格高騰の中で、「水より安い現実を踏まえた対策を」と切々と訴える(2008年2月1日、参院予算委員会)



首にオレンジタオルを巻いてJA全中の畜産・酪農危機突破全国代表者集會に出席=右端(2008年2月15日)



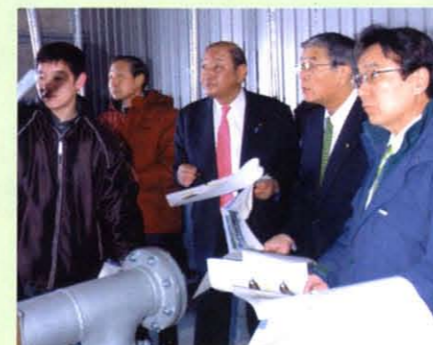
民主党の「農業者戸別所得補償法案」の矛盾を厳しく追及する(2007年11月1日、参院農林水産委員会)



母校の早稲田大学で「わが国のあり方と『食』と『農』の諸課題」と題して講義(2008年1月19日)



畜産・酪農対策に備え栃木県のメガファームを視察(2008年1月30日)



2008年度の畜産・酪農対策に向けて北海道を訪れ、真剣な表情で農家の要望を聞く(2008年1月28日、釧路市)



自民党の新人議員17人でつくる「一七会」が開いた農業問題勉強会で講師を務める(2007年11月14日)

参議院予算委員会の質疑応答要旨

〈山田俊男委員〉卵の黄身が黄色またはオレンジがかかったものがあるが、この原因は遺伝子なのか。

〈若林農水大臣〉卵の黄身が黄色いのは、主たるえさのトウモロコシのカロチンが飼料の中に含まれていると承知している。

〈山田委員〉国内で生産力のある飼料米を活用して、黄身が白味がかかった卵があつていいと考える。穀物価格の高騰は地球温暖化の問題とも関わっており、決して一過性のもではない。

〈若林農水大臣〉穀物の在庫率は、かつてアメリカが大豆の禁輸措置を講じた時点の在庫率を下回る状況になっており、憂慮すべき状況だと思われる。

〈鴨下環境大臣〉世界的な平均気温が1~3度上昇すると、食料生産のポテンシャルは増加するが、その後は減少に転ずると予測されている。これが食料、穀物の高騰に影響すると思われる。

〈山田委員〉配合飼料の価格安定基金制度があるが、上がった際の一時的な補填であつて、継続的に上がつて高位に推移した場合には機能しない心配がある。

〈若林農水大臣〉おっしゃるとおり、継続的に高水準の価格が継続した場合にはこの仕組みは機能しない。

〈山田委員〉この制度の見直しを何としてでもやっていただきたい。酪農家は苦勞して牛乳を生産しているが、水よりも安いという現実には認められるものではない。牛乳の安売りや、価格アップを認めないという大スーパーの優越的な地位の濫用があるのではないのか。

〈若林農水大臣〉加工流通業者や消費者に理解してもらい、その理解の醸成を図って、生産コストの上昇が適正に小売価格に反映するような環境づくり、施策が必要だと思う。

〈山田委員〉経済財政諮問会議の専門調査会など、実態と懸け離れた議論を進めている会議のあり方、特定の主張をしてはばからない委員だけによる会議は適切と言えるのか。

〈大田内閣府特命担当大臣〉政府として最終決定する時は閣議決定でされるので、一部の意見だけが通るようなことは全くない。

〈山田委員〉世界的な穀物不足の中で、我が国の気候、風土にあった米のえさ化やホールクローブサイレージの活用を進めるべきだと考える。

〈若林農水大臣〉水田の有効利用をしていくために、飼料用の米とか稲のホールクローブサイレージなど主食用以外の米の生産に取り組んでいくことも今後、重要な課題であると考えている。

〈山田委員〉我が国の農業とアジアの農業が共に成り立つ観点でのEPA推進戦略が必要だ。みどりのアジアEPA推進戦略はその観点で進めてきた。

〈若林農水大臣〉みどりのアジアEPA推進戦略は、大きな理念を示しており、現実にこの戦略により、タイとのEPA交渉などには成果を上げている。

〈甘利経済産業大臣〉日本の農業も、アジア、ASEANの中で、相互補完関係でそのエリアを広げるというチャンスもあるし、そこを見いだすべきだ。

〈高村外務大臣〉アジア諸国と日本の農業が共生するという視野にこれつつ、これからもアジア諸国と連携を図っていきたく思っている。

〈山田委員〉ヨーロッパの農業は、2つの大戦の中で大変な飢餓と食料危機を経験してきたことなどから国民合意ができています。我が国も農業政策の推進に国民合意を求める取り組みが、何としてでも必要になる。総理以下皆さんで、この国民合意形成とこの国の農業振興、再建について頑張ってください。我々も一緒にやる。